

食べる人も作る人もみんな幸せに
つながりを大切にします。



〈活動内容〉

毎年12月に児童養護施設や福祉施設に新米27kg袋を200～300袋寄付しています。また市内の子ども食堂にお米や野菜を提供しています。



小久井会長と奥様にお話を伺いました

◆活動のきっかけは何ですか

福祉施設へのお米の寄付は、児童養護施設平和学園の小笠原施設長が入職してすぐの頃、子どもたちが行っている野菜作りや土づくりの相談にお見えになったことがきっかけです。そこから平和学園の子どもたちと一緒にBBQをしようということになり交流を図りました。その年の年末からお米の寄付が始まりました。今では社会福祉協議会を通じて市内の児童養護施設や福祉施設に寄付しています。子ども食堂へのお米や野菜の提供は社会福祉協議会からお話があり昨年度より始めました。

◆活動をする際に心がけていることを教えてください

「おいしくて、安全なお米を作る事が原点で、一度食べたら忘れない味にする事」を理念として、社長を始め、農場のスタッフ皆が一丸となって日々頑張っています。美味しかったの一言が聞きたくて安心して食べられるよう安全な作物づくりを心がけています。天候に左右され不作の時もありますが、そんな時こそ地域に恩返しする気持ちを忘れずに続けています。

◆活動の効果はありましたか

自分たちは今まで通り美味しいお米や野菜を作っていくだけで特に変わることはありませんが、食べてくれる人たちが食べ物への感謝の気持ちに着目してくれ、少しでも興味を持ってもらえることがこの活動の効果なのかなと思います。

◆子ども食堂運営者からの声

- 毎回助かっています。
- 子どもたちに新鮮な野菜を食べさせることができました。
- 野菜だけでなくフルーツも頂けた。

